

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 **ジーエルサイエンス株式会社**コード番号 7705 URL <http://www.gls.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高橋 良彰

TEL 03-5323-6633

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,170	—	109	—	151	—	△115	—
20年3月期第1四半期	4,391	0.8	216	9.5	304	99.6	132	63.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△20.93	—
20年3月期第1四半期	23.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	23,185	—	15,121	—	57.2	—	2,403.36	—
20年3月期	23,389	—	15,727	—	58.5	—	2,469.72	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 13,265百万円 20年3月期 13,686百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	45.00	45.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,535	8.7	569	56.9	611	68.6	153	△57.2	27.71
通期	20,045	8.1	1,653	71.7	1,676	139.9	840	46.9	151.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 5,595,000株 20年3月期 5,595,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 75,331株 20年3月期 53,131株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 5,531,669株 20年3月期第1四半期 5,592,469株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月13日発表の連結業績予想は自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益を変更しておりますが、その他の業績予想数値は変更していません。本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題の影響に加え、原油や原材料の価格高騰により企業収益に陰りが見え始め、設備投資の停滞など景気に減速感が高まってきました。また個人消費は物価上昇に伴う実質所得の減少等を背景として弱含みに推移いたしました。

こうした状況下、当社グループの連結業績は売上高が前年同期比5.0%減の4,170百万円となりました。損益につきましては、営業利益は前年同期比49.5%減の109百万円、経常利益は前年同期比50.2%減の151百万円、当第1四半期純損失はたな卸資産の評価に関する会計基準の適用に伴い、半導体事業にて特別損失としてたな卸資産評価損273百万円を計上し、115百万円（前年同期は四半期純利益132百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

（分析機器事業）

当事業では当期の営業方針を「メーカーとしての回帰元年」と位置づけ、自社製品の拡販活動を積極的に展開しました。これにより、当社のブランド品「イナートファミリー」をベースに自社消耗品、自社装置の売上が伸びました。しかし、大学、官庁等の予算執行の遅れや、急激な円高により、輸出関連企業からの注文・引き合いが見送られ、高額な他社装置など他社商品の落ち込みをカバーできず、売上は減少しました。

この結果、売上高は2,841百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は78百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

（半導体事業）

半導体業界におきましては、パソコン用DRAMやNAND型フラッシュメモリーなどに代表的される半導体メモリーは、昨年後半から供給過剰が続いておりました。このため、メーカー各社では生産調整を行い、メモリー価格が上昇基調に転じるなどの効果が見られましたが、設備投資は抑制気味に推移いたしました。

このような環境下、当事業は半導体製造装置メーカーからの受注が落ち込み、当第1四半期の受注高は983百万円、受注残高は878百万円となり、半導体製造装置用製品の売上は石英製品が986百万円（前年同期比1.1%減）、シリコン製品が148百万円（前年同期比28.7%減）、全体では1,135百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

この結果、売上高は1,165百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は36百万円（前年同期比57.3%減）となりました。

（自動認識事業）

当事業のデバイス部門は、海外で主流のmifareチップを搭載したリーダーライター（機器組込モジュール基板系製品）を中心に堅調に推移いたしました。しかし、前第1四半期は大手電気メーカーから壁付型リーダーライター（完成系製品）の大口受注により、好調に推移しましたが、当第1四半期ではそれに代わる売上が無く、前年同期比では減収となりました。

システム部門では、近年増加している企業での内部犯罪に備え、情報漏洩防止対策ツールが注目されてきておりますので、新製品「入退室コントローラXRC100シリーズ」を戦略製品と位置づけ市場投入しました。しかし、東京、大阪でプライベートショーを開くなど、拡販に努めましたが、当第1四半期では大きな展開を得ることはできませんでした。

この結果、売上高は、163百万円（前年同期比27.8%減）、営業損失5百万円（前年同期は営業利益40百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ203百万円減少し23,185百万円となりました。負債は、短期借入金の増加などにより、402百万円増加し8,063百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、606百万円減少し15,121百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の1,163百万円から598百万円増加し1,761百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、賞与引当金の減少額205百万円、売上債権の減少額628百万円、法人税等の支払額158百万円などにより、364百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出228百万円などにより、270百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額660百万円、配当金の支払額209百万円などにより、522百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益を変更しておりますが、その他の業績予想数値は平成20年5月13日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、同会計基準の適用にあたっては、期首在庫の評価から適用したとみなし、期首在庫に含まれる変更差額(273,272千円)を「たな卸資産評価損」として特別損失に計上する方法によっております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、売上総利益、営業利益が58,589千円、経常利益が50,461千円、税金等調整前四半期純利益が323,734千円それぞれ減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、当該変更に伴う損益に与える影響はありません。

(追加情報)

当社は、平成20年度の法人税法改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、一部の有形固定資産の耐用年数の変更を行っております。これにより損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年 6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,247,388	2,805,071
受取手形及び売掛金	5,695,644	6,336,327
有価証券	100,000	100,000
商品	236,073	269,752
製品	1,023,274	1,178,142
原材料	1,157,583	914,008
仕掛品	1,440,155	1,648,884
その他	371,356	444,555
貸倒引当金	△12,445	△10,876
流動資産合計	13,259,031	13,685,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,059,351	3,132,750
土地	3,155,879	3,155,879
その他(純額)	2,090,411	2,041,038
有形固定資産合計	8,305,641	8,329,667
無形固定資産		
投資その他の資産	104,814	112,923
その他	1,525,486	1,368,542
貸倒引当金	△9,453	△107,607
投資その他の資産合計	1,516,032	1,260,935
固定資産合計	9,926,488	9,703,526
資産合計	23,185,520	23,389,393

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年 6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,355,938	2,412,086
短期借入金	2,687,041	2,042,444
未払法人税等	13,984	168,294
賞与引当金	163,247	368,712
その他	562,862	445,963
流動負債合計	5,783,075	5,437,500
固定負債		
長期借入金	1,792,570	1,665,498
退職給付引当金	12,486	27,427
役員退職慰労引当金	222,155	237,716
負ののれん	1,806	0
その他	251,874	293,583
固定負債合計	2,280,892	2,224,225
負債合計	8,063,967	7,661,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,819,711	1,819,711
利益剰余金	10,636,338	11,001,485
自己株式	△122,345	△83,714
株主資本合計	13,541,500	13,945,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,660	16,620
繰延ヘッジ損益	14,510	△19,013
土地再評価差額金	△346,316	△346,316
為替換算調整勘定	379	90,312
評価・換算差額等合計	△275,765	△258,397
少数株主持分	1,855,818	2,040,787
純資産合計	15,121,553	15,727,667
負債純資産合計	23,185,520	23,389,393

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年 4月 1日
至 平成20年 6月30日)

売上高	4,170,183
売上原価	2,899,453
売上総利益	1,270,730
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	349,458
賞与引当金繰入額	76,428
貸倒引当金繰入額	1,632
退職給付引当金繰入額	12,368
役員退職慰労引当金繰入額	4,627
その他	717,013
販売費及び一般管理費合計	1,161,528
営業利益	109,201
営業外収益	
受取利息	1,426
受取配当金	8,408
為替予約評価益	55,725
その他	21,593
営業外収益合計	87,153
営業外費用	
支払利息	16,851
為替差損	17,509
持分法による投資損失	4,177
その他	5,972
営業外費用合計	44,511
経常利益	151,844
特別損失	
固定資産売却損	252
固定資産除却損	1,103
投資有価証券売却損	115
たな卸資産評価損	273,272
その他	2,000
特別損失合計	276,743
税金等調整前四半期純損失(△)	△124,899
法人税、住民税及び事業税	8,221
法人税等調整額	88,818
法人税等合計	97,040
少数株主損失(△)	△106,177
四半期純損失(△)	△115,762

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△124,899
減価償却費	184,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△205,464
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,562
受取利息及び受取配当金	△9,834
支払利息	16,851
売上債権の増減額 (△は増加)	628,558
たな卸資産の増減額 (△は増加)	137,002
仕入債務の増減額 (△は減少)	△127,108
その他	29,138
小計	530,656
利息及び配当金の受取額	9,682
利息の支払額	△17,059
法人税等の支払額	△158,841
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△468,291
定期預金の払戻による収入	424,010
有形固定資産の取得による支出	△228,004
有形固定資産の売却による収入	271
無形固定資産の取得による支出	△3,646
投資有価証券の取得による支出	△2,300
投資有価証券の売却による収入	1,118
貸付金の回収による収入	4,741
その他	1,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	660,400
長期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△127,121
自己株式の取得による支出	△38,630
配当金の支払額	△209,525
少数株主への配当金の支払額	△12,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	522,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,570
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	598,036
現金及び現金同等物の期首残高	1,163,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,761,617

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,841,692	1,165,052	163,439	4,170,183	—	4,170,183
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	26,478	—	26,478	(26,478)	—
計	2,841,692	1,191,530	163,439	4,196,662	(26,478)	4,170,183
営業利益	78,736	36,235	△ 5,765	109,205	(4)	109,201

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日) (至 平成19年6月30日)
	金 額
I 売上高	4,391,412
II 売上原価	3,031,906
売上総利益	1,359,506
III 販売費及び一般管理費	
1. 貸倒引当金繰入額	229
2. 給与手当	340,921
3. 賞与引当金繰入額	57,350
4. 退職給付引当金繰入額	△4,705
5. 役員退職金引当金繰入額	4,550
6. 試験研究費	160,398
7. その他	584,328
販売費及び一般管理費合計	1,143,072
営業利益	216,433
IV 営業外収益	
1. 受取利息	1,665
2. 受取配当金	15,200
3. 為替差益	8,996
4. 為替予約評価益	60,789
5. その他	20,558
営業外収益合計	107,209
V 営業外費用	
1. 支払利息	13,261
2. その他	5,433
営業外費用合計	18,694
経常利益	304,948
VI 特別利益	
1. 貸倒引当金戻入益	100
2. 投資有価証券売却益	31,992
特別利益合計	32,092
VII 特別損失	
1. 固定資産除却損	958
2. 役員退職慰労金	40,000
特別損失合計	40,958
税金等調整前 四半期純利益	296,082
法人税、住民税及び事業税	6,949
法人税等調整額	139,452
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	16,773
四半期純利益	132,906

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日) (至 平成19年6月30日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	296,082
減価償却費	172,174
賞与引当金の増加額(△は減少額)	△ 216,849
貸倒引当金の増加額(△は減少額)	128
退職給付引当金の増加額(△は減少額)	△ 31,020
役員退職金引当金の増加額(△は減少額)	△ 100,898
受取利息及び受取配当金	△ 16,866
支払利息	13,261
為替予約評価損(△は評価益)	△ 60,789
固定資産除却損	958
投資有価証券売却益	△ 31,992
売上債権の減少額(△は増加額)	317,135
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 272,772
仕入債務の増減額(△は減少額)	18,604
その他	15,991
小計	103,148
利息及び配当金の受取額	16,532
利息の支払額	△ 8,799
法人税等の支払額	△ 280,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 169,574
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 211,491
無形固定資産の取得による支出	△ 6,304
投資有価証券の取得による支出	△ 15,772
投資有価証券の売却による収入	92,892
その他	671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 140,005
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額(△は減少額)	496,150
長期借入による収入	700,000
長期借入金の返済による支出	△ 136,234
配当金の支払額	△ 200,094
少数株主への配当金の支払額	△ 14,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	845,309
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8,852
V 現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	526,876
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,304,917
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,831,794

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:千円)

	分析機器事業	半導体事業	自動認識事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,949,641	1,215,273	226,498	4,391,412	—	4,391,412
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30,145	—	30,145	(30,145)	—
計	2,949,641	1,245,419	226,498	4,421,558	(30,145)	4,391,412
営業費用	2,856,245	1,160,630	186,417	4,203,293	(28,314)	4,174,979
営業利益	93,395	84,788	40,080	218,265	(1,831)	216,433

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。